

いなほ

稻積神社社報
第42号

平成27年 新年号



祝祭日には国旗を掲げましょう

外郭団体	権宮 禰宜司
甲府伊勢講講元	藤宮内塩飯宮丹齋小名志伊河保神根篠土根根
崇敬青年会会长	本川田島室川澤藤尾取村藤野田戸津原肥津津
稻積陸会会長	陸好睦正増奈裕泰昌佳康東泰
敬神婦人会会长	浩武清博武武臣茂武昭実之山俊夫明正宮司昇
崇敬会友の会会长	
いなづみ会会长	
和会会长	
崇敬会常若会会长	
いなほ会会长	
井市山佐大丹長大小	
上村井藤森澤渕澤野	
重竜康久起英慶	
太良郎能良丘子規暢忠	
浩武清博武武臣茂武昭実之山俊夫明正宮司昇	

謹賀新年

新年のご挨拶



責任役員・総代会長

小 尾 武

世の中になつてきました。多くの犠牲者の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、稻積神社におかれましては、昨年九月二十日第十一回崇敬会記念大祭並びに崇敬会「友の会」設立十周年記念大会奉告祭が斎行され、神社と崇敬会各員の絆が更に深ま

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族とともにお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

全国敬神婦人鹿児島大会に参加して

敬神婦人会会計

北澤梅子

初めて訪れた鹿児島は台風の影響で雨が降り続き、明けて九月二十五日は雨もあがり海も穏やかで山々も姿を見せてくれました。第六十五回鹿児島大会の会場は、城山観光ホテル、目の前に噴煙を上げた桜島が私達を迎えてくれました。山梨県より十八名（内修久様の「島津七〇〇年の歴史—海をみていた殿様たち」）の講演は興味深いお話をしました。

などところで大きな被害を蒙りました。八月には広島市北部の土砂災害が、また九月の木曾御嶽山の噴火はまだ記憶に新しい未曾有の災害でした。今ではこのような災害がいつどこで起こるかわかりません。

長い間言われ続けてきた地球温暖化が、とうとう現実となつて影響を及ぼし始めたのでないでしょうか。大変怖い

県においても二月に観測史上初といふ豪雪に見舞われ、交通網がマヒし家屋や農業等様々

の影響で雨が降り続き、明けて九月二十五日は雨もあがり海も穏やかで山々も姿を見せてくれました。第六十五回鹿



最終日は霧島神社の正式参拝、広い境内、朱塗の鮮やかな社殿は今でも脳裏に焼きついております。御祭儀等の様子をビデオで観させていただき、さすが歴史と文化の地だと感じました。砂風呂も経験し知り得ることと確信致します。

今年の干支は羊です。

初詣に行かれる方も多い事でしよう。どうか穏やかな年となりますようにと願わずにいられません。

旅の余韻を胸に、西郷さんの銅像に見送られ帰路に着きました。敬神会員として神社の奉仕活動のみでなく、地域社会に於いても何かお役に立てて頂きたいと思います。

ありがとうございました。

「みまもり石」鎮座

「みまもり石」は御神木の根本に鎮座しております。

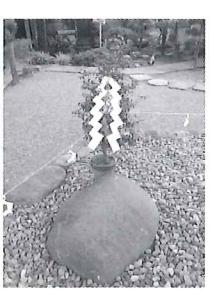
時折、参拝者の方々に石の由来を聞かれるのですが理由をお話しさると、さすがに座つたり抱いてみたりと様々な形で石の御力をいただいているようです。

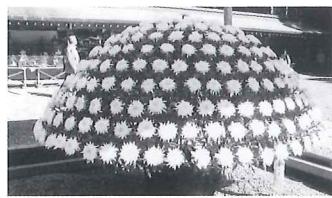
この石は以前、稻積神社境内の濃い二泊三日の楽しい旅の余韻を胸に、西郷さんの銅像に見送られ帰路に着きました。敬神会員として神社の奉仕活動のみでなく、地域社会に於いても何かお役に立てて頂きたいと思います。

その為、桜の木の成長と共に木が覆い被さり、まるで母親に抱かれる子供のようにも見え、また境内をひつそりと見守っているようにも見えました。

平成二十五年に行われた「社務所新築工事」に伴い、長い間目を楽しませてくれたいた桜の古木二本を伐木することになりました。

それを見た宮司が「境内を長く間見守つてくれていた石を粗末にしてはならない。御神木の近くへ置きましょう。」ということで今は御神木の近くへ「みまもり石」と名付けられました。終了後、生で聴いた薩摩琵琶の奏でる音色に心打たれ、照國神社宮司、島津修久様の「島津七〇〇年の歴史—海をみていた殿様たち」





新潟の旅 白山神社と菊まつりの弥彦神社参拝
第四十九回甲府伊勢講開催される

甲府伊勢講の旅を終えて

講元 小野 忠

第四十九回の旅行は白山神社、弥彦神社正式参拝と月岡温泉「華鳳」に宿泊の旅でした。

十月二十九日早朝バス三台を連ねて一路新潟へ出発しました。途中休憩をはさみ最初の参拝予定の白山神社へ到着しました。当神社は延喜(九〇二)御創建の由緒ある神社です。正式参拝を済ませ、昼食後、豪農の館北方文化博物館の見学、敷地八八〇坪、部屋数六十五室を数える大邸宅、すごいと感心しました。

夕方今晩の宿華鳳へ白玉の湯に入り、宴會は例年通り大いに飲んで語り歌つて絆を深め合いました。二日目は越後一宮

弥彦神社にて正式参拝、約一三〇〇年前の御創建との事、参道の左右に奉納の菊花約三〇〇鉢の大菊中菊出陳され見事の菊が観賞できました。来年は第五十回記念、伊勢神宮早朝参拝と京都駿賀の旅です。

是非大勢のご参加を期待いたします。

第四十九回稻積神社 伊勢講に参加して

崇敬会会員

中村 貞夫

ここ数日はすつきりしない天候が続いていたが、出發日の十月十九日は晴天に恵まれ朝の冷気を快よく感じながら集会場所へと急いだ。既に伊勢講の常連の方々の顔も見え互いにあいさつをかわすうちバスが到着、今回の参加者は総勢百二十六名うち私達四十二名は二号車に分乗、定刻六時三十分に出発、途中乗車の方を乗せて中央道に入り一路信濃路を目指した。

車中では伊勢講の小野講元より挨拶のあと同乗されて居た。

見学して今日の行程を終え「月岡温泉 華鳳」に入った。温泉で疲れを癒し、ゆったりと

第五十回甲府伊勢講の旅

した気分で一同歓談しつつ一夜の宴会を楽しんだ。二日目はホテルを出て間もなく今回の参拝旅行の主目的である弥彦山の麓にうつ蒼と茂る大木の境内に鎮まります弥彦神社に着きました。拝殿にて巫女の雅やかな奉納の舞を拝見、正式参拝もすませ、丁重なおもてなしを受け心より有難く感激いたしました。これも稻積神社伊勢講 及び山梨県神社庁長の根津宮司のお力添えによるものと感謝を申し上げる次第です。



10月 18日	甲府各地----甲府昭和IC/伊勢西IC----伊勢神宮豊受大神宮【外宮】 新穀感謝祭(御垣内参拝・神樂奉納) ----岩戸屋(昼食)…おかげ横丁散策----戸田家(泊)
19日	戸田家----伊勢神宮皇大神宮【内宮】早朝参拝 ^{徒步} …岩戸屋(朝食) ---伊勢西IC/伊勢関IC---名阪神ドライブイン(お買物・休憩) ---大津プリンス---世界遺産 宇治・平等院 拝観と散策---湯の花温泉(泊)
20日	湯の花温泉---トロッコ亀岡>>>トロッコ嵯峨---京都嵐山 京都嵐山 ホテルりょうぜん(昼食) 清水周辺(お買物・散策)---京都東IC/甲府昭和IC---甲府各地 ^{徒步}

日 程
平成二十七年十月十八日(日)
→二十日(火)
旅 費 六一一〇〇〇円

より内宮の早朝参拝と修理を終えた世界遺産平等院を訪ねる参拝旅行を企画いたしました。

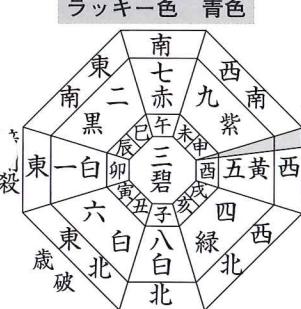
甲府伊勢講のご案内

○昭和二十年生 七十歳
自我心が強く働き、自己主張
が強くなる年ですので、自分自
身は勿論、周囲の環境をよく見
据えること。さうもないと諸事に
離散事が多くできます。
○昭和二十九年生 六十一歳
男性は後厄です。厄除祈願を
お受け下さい。軽拳妄動な姿勢
だと財物を失う結果になります。
謙虛な姿勢で穏やかな生活を心
がける事。
○昭和三十八年生 五十一歳
保守保全を保ち、控え目の行
動で日々を過す態度であれば、
衣食住に恵れ金運もある吉福の

平成二十七年
運勢



社会も生活も動き始めます。思いがあり前進した事柄があるなら手掛けましょう。決断力が大切な年です。判断を誤らなければ良い方向に進むでしょう。逆に自分の弱い性格又欠点を表面に出すと、成就せず、自分本位に進むと事態が悪化するの



平成二十七年方位吉凶圖

☆二黑土星（盛運期の盛運）
諸事が順調に進み、繁栄发展の年です。社会的に信用が得ら
れる年です。

○平成二年生 二十五歳
男性は後厄です。厄除をお受け下さい。将来の運を受ける年。良縁もあるが、吉方の態度に注意。

○昭和四十年生　四十三歳
自分本位の行動を慎む三歳
大切な年。他の意見を聴く姿勢
が大事。気位を高くすると反対
に妨害を受け失脚の事態を招く。
○昭和五十六年生　三十四歳
常に警戒や慎重さを怠らな
い姿勢が必要。散財事が怠ら
で金銭管理をする事。病災にも

れるし、対人関係も深めらる
年です。反面慎重に物事にこだわ
ないと機会を逃すことになり
すので熟慮して下さい。

○昭和十九年生 七十一歳

晩年運を迎えますので、
に注意をし、慎重に決断する
ことが肝要です。先を見通して
動をとることが大切です。

○昭和二十八年生 六十二歳

得る為には慎重に事を運ばないと、逆面になりがちです。足元をしつかり見つめて下さい。
○昭和五十五年歳末女性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。諸事がスムーズに進行しますが事柄を鵜呑みにしては危険です。確信を持ったて決断し、行動に移すことを。○平成元年・昭和六十四年生二十六歳この世は苦婆娑と言ふ

るなら名声を持する功もあり。
○昭和六十三年生 二十七歳
過去二年を実りある歩みをしてきたならば、上位の引立てもあり、信用を得づられ繁榮します。
しかし行き過ぎの行動は、困難事を招くので注意。

星	誕生年	吉方位
一白水星 (向上運)	昭和成二年 大正二年 七年	東北 東 西北
二黑土星 (盛運)	昭和成三年 大正三年 八年	南 南 西北
三碧木星 (順調運)	昭和成四年 大正四年 九年	東南 東 西南
四綠火星 (順調運)	昭和成五年 大正五年 十四年	東 東 西南
五黃土星 (順調運)	昭和成六年 大正六年 十五年	東北 東 西北
六白金星 (注意運)	昭和成七年 大正七年 十六年	東 東 西南
七赤金星 (順調運)	昭和成八年 大正八年 十七年	東 東 西南
八白土星 (衰退運)	昭和成九年 大正九年 十八年	東 東 西南
九紫火星 (順調運)	昭和成十年 大正十年 二十二年	東 東 西南
十正 八 年	昭和成十一年 大正十一年 二十三年	東 東 西南
十一 年	昭和成十二年 大正十二年 二十五八年	東 東 西南
十二 年	昭和成十三年 大正十三年 二十六年	東 東 西南
十三 年	昭和成十四年 大正十四年 二十七年	東 東 西南
十四 年	昭和成十五年 大正十五年 二十八年	東 東 西南
十五 年	昭和成十六年 大正十六年 二十九年	東 東 西南
十六 年	昭和成十七年 大正十七年 三十一年	東 東 西南
十七 年	昭和成十八年 大正十八年 三十二年	東 東 西南
十八 年	昭和成十九年 大正十九年 三十三年	東 東 西南
十九 年	昭和成二十年 大正二十年 三十四年	東 東 西南
二十 年	昭和成二十二年 大正二十二年 三十五年	東 東 西南

○昭和三十七年生 五十三歳
歩んできた痕跡を振り返つて下さい。そして進むべき道・態度を考えましょう。経験を生し一歩踏み出して下さい。上に出ること無く控え目に。○昭和四十六年生 四十四歳
社会運も財運もある年です。

にか悪く
○○凶方 吉方 南・南西・北
○○諸事 移動 吉 東・東南・西・西北・東北
開店、新築前半に着手

れるし、対人関係も深められ、年です。反面慎重に物事に接しないと機会を逃すことになりますので熟慮して下さい。

○昭和十九年生 七十一歳

○昭和二十八年生 六十二歳

諸事が豊かに恵まれる年です。心広く仁義に尽し、道徳精神を重んじた生活を心がけて、晚年は

ましる事に行うを半生であります。昭和五十五年女性は前厄です。厄除願をお受け下さい。諸事がスムーズに行進しますが事柄を鵜呑みにしては危険です。確信を持つて決断し行動に移すことをお祈りです。平元年、昭和六十四年二十六歳の「この世は苦娑婆」と言ふ葉があります。この世は良い面ばかりではありませんので、好い話しこそを持ち込まれても慎重に得るには慎重に事を運ばないと、逆面になります。足元をしっかりと見つめて下さい。

○昭和三十六年生 五十四歳
財産、金銭の縁が薄い年です。
又家族間にも溝を生じ易いので、
自分をしつかり見つめること。
高音の気持は厳禁です。
○昭和四十五年生 四十五歳
精神的にも不安定な時期です。
ので、「自己制御」が出来難くなり、
自意識過上な行動に出やすいの
で、家族の話に耳を傾けること。
○昭和五十四年生 三十六歳
女性は本厄です。厄除祈願を
お受け下さい。悪化作用が働き、
諸事に障害を招き、心身に苦勞が
堪えないので、反面保守保全に努めること。

○吉方 南・南西・北
東・東南・西・西北・東北
◎凶方
○諸事 吉店 新築前半に着手
移動
三碧木星 (平運期の注意運)
変動運です。星除祈願をお畠
け下さい。八方塞りの年なので
変化変動の行動は避けるべきで
す。強引な行動に出ると悪化作
用が働き、大波瀾を招くことに
なりますので、保守安全に努め
ることです。

○昭和二十七年生 六十三歳
自我心を強く表面に表わすと、
諸事の破壊、破滅、分離の悪化
作用が生じるので、言動は慎重さ
が求められます。

○昭和五十五年生 三十五歳
女性は前歴です。厄除祈願をお受け下さい。諸事がスムーズに進行しますが事柄を鵜呑みにすることは危険です。確信を持つて決断し、行動に移すこと。
○昭和五十六年生 三十六歳
「この世は苦婆婆」と言う言葉があります。この世は良いい話しさを持ち込まれても慎重に得る為には慎重に事を運ばないと、逆面になりがちです。足元をしっかりと見つめて下さい。

○昭和四十四年
諸事に権力を欲を通して進んで、物にならぬ忙になり、体子で、増し、病難の相
○昭和五十三年
女性は後厄で、受け下さい。が、結実完成を圖
誉、信用を得た
から信頼の出来事
とも高慢、行き
○昭和六十二年
公的、私の心

○昭和二十六年
暗から明へ、
積極的に取組んで、
今後に向けて、
適年年です。
○昭和三十三年
諸事に猪突斧
りますので、是
な年です。怠る
出が増し、破滅
りますので用心
昭和三十三年
希望達成の年
ず前進するなま
に進みます。助
も受けた強大

るなら名声をまわす。昭和六十三年、過去二年を経て、きたならぱり、信用を得たり。しかし行き過ぎで注音を招くので注意。平成九年生。

女性は最初の除願を最も受けやすくなる年で、動が肝要な年です。

○吉方　○凶方　○諸事

東北、見送り、

○昭和四十四年生 四十六歳
諸事に権力をかざしたり、我
欲を通して進めると、非常に多
忙になり、体力を消耗するだけ
で、物にならず、身心共疲労が
増し、病難の相あり。

○昭和五十三年 三十七歳
女性は後厄です。厄除祈願を
お受け下さい。諸事の不完全事
が結実完成を図りますので、名
誉、信用を得られます。男性は世間
から信頼を受けます。女性は良
縁や男児の出産に縁あり。両性
とも高慢、行き過ぎに注意。

○昭和六十一年生 二十八歳
公的、私的でも非常に多忙な

暗から明へと移り変る時ですので躍動感があります。諸事に積極的に取組んでよい年です。今後に向けての基礎作りには最適な年です。

○昭和二十六年生 六十四歳
諸事に猪突猛進のところがあるので、慎重な言動が必要な年です。怠ると経済的にも支出が増し、破滅を招く事にもなりますので用心を。

○昭和三十五年生 五十五歳
希望達成の為に努力を惜しまず前進するならば、諸事が順調に進みます。又、引き立てや援助も受けて強力堅固となります

るなら名声を持つする功もあり。
○昭和六十三年生 二十七歳
過去二年を実りある歩みをしてきたならば、目の引もあつて、信用をも得られ弊解します。
しかし行過ぎの行動は、困難事を招くので注意。
○平成九年生 十八歳
女性は最初の本厄ですので厄除願はお受け下さい。平靜不動が肝要な年です。
○吉方 南西・西北
○凶方 東北・東・西
○諸事 見送り

年であるが、その多忙さがあまり身にならないので、行動するときは、平静不動が肝要な年です。◎女性は後厄です。そのため厄除祈願をお受け下さい。努力を惜しまなければ知恵聰明になり、学業成就の天運が授ります。

◎吉方 南西 東北・東・東南・西・西北

○昭和八年生 十九歳

女性は後厄です。そこで厄除祈願をお受け下さい。努力を惜しまなければ知恵聰明になり、学業成就の天運が授ります。

◎吉方 南西 東北・東・東南・西・西北

将来得望を得ます。対人関係も良好な年です。女子は出産は良好な年です。児を得るでしょう。◎吉方 北・東・南・西・西北

○諸事 前半は慎重に、後半吉

☆五黄土星(平運期の順調運) 経済の発展、対人関係も良好に當まれ、自らの精神も安定する年ですが、やや力不足の点なのがあります。慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和二十五年生 六十五歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の權威や独立を求める強烈な欲求が生まれます。自分の心構え大切に。病難の宿命運もあり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和五十三年生 三十九歳 事あれば神社参拝、墓参りを先の事が捕われず、将来を見据えてきた年です。今、努力を積んでおけば、

○昭和三十二年生 六十七歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和二十四年生 六十六歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和二十五年生 六十五歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運もあり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和三十三年生 五十八歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和三十四年生 六十七歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和三十五年生 六十八歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運もあり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和三十三年生 五十八歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和三十四年生 六十七歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和三十五年生 六十八歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運もあり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和三十三年生 五十八歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和三十四年生 六十七歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和三十五年生 六十八歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運もあり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和三十三年生 五十八歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和三十四年生 六十七歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和三十五年生 六十八歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運もあり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和三十三年生 五十八歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和三十四年生 六十七歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和三十五年生 六十八歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運があり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和三十三年生 五十八歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和三十四年生 六十七歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和三十五年生 六十八歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運があり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

○昭和三十三年生 五十八歳 東北・東・東南・西・西北

○諸事 通年より数倍の努力が必要です。◎吉方 北・東・南・西・西北

○昭和三十四年生 六十七歳 ある年のため、慎重に事にあたらなければなりません。怠ると、経済的に困窮を招きます。東方位は殺と暗剣殺を同時に持つ方位となるので注意。

○昭和三十五年生 六十八歳 基盤作りで努力してきた人は、目的が達成出来る年です。足元を見据え努力するなら繁栄の足がかりになる年です。

○昭和三十四年生 五十六歳 自己の心構え大切に。病難の宿命運があり。

○昭和四十三年生 四十七歳 信用を得て繁栄する運にあるが、油断すると、消費遊びに比重が傾き困窮を招く恐れがありますので、自惚れに注意。

○昭和五十二年生 三十八歳 真面目な努力も報われず、状態がスムーズに進行いたしません。始め大禍なくとも、終りは平良い結果が生まれません。今年は社会にも認められる存在にな重ね、経験を積んでおけば、

邸内社（稻荷社）

稻荷社の宮守者 吉住恭子

母方の祖父宅の庭に祭られたいた稻荷社。小学生の五年前を祖父宅で過ごしていましたので、初午にお供えをしてお祭りをしているのを見て育ちました。祖父の没後、祖母の転居に伴い稻荷社も移転、マンション住まいになつた為ベランダに安置してお祭りしていました。その後私の一家と暮らす事になりましたが、稻荷社を安置する場所がなく、祖母の軽井沢の山荘の庭に安置してありました。祖母の没後、詳しいきつは私は聞いていないのですが、両親が稻積様のご相談して軽井沢まで来ていただき、このまでは良くないとの事で稻積様にお願いする事になった様です。その後は実家でお祭りをしてきました。両親の没後、お祭りもどこおがちになり気にしておりました。主人の没後、稻積様に娘と伺った時に宮司様よりお社の屋根の件でお話があり、今まで気になっていたのでこれを機に、私がお祭りをしていくこうと思ひ、今日に至っています。



体が不自由な事もあり一人ではなかなか伺えない為初午にお祭りとはいかない現状ですが、娘が協力して一緒に伺うので、時期はずれになつてしまいますが、年に一回お祭りをする事が数年続いて出来ています。私の後も誰かが、続けてくれると思っています。また事も出来ず稻積様には申します。祖父母や両親が大事にしてお祭りをしていきたく思つていています。

新年祈願ご案内											
平成二十七年乙卯年を迎え、新年祈願祭を斎行しております。家内安全・商売繁昌・厄除・合格祈願等隨時行っております。											
初穂料 五千円以上											
安産祈願の由来											
安産祈願は神様に参詣し懷妊の報告と無事出産を祈願する行事です。											

平成27年 戌(いぬ)の日カレンダー

1月	10(土)・22(木)	7月	9(木)・21(火)
2月	3(火)・15(日)・27(金)	8月	2(日)・14(金)・26(水)
3月	11(水)・23(月)	9月	7(月)・19(土)
4月	4(土)・16(木)・28(火)	10月	1(木)・13(火)・25(日)
5月	10(日)・22(金)	11月	6(金)・18(水)・30(月)
6月	3(水)・15(月)・27(土)	12月	12(土)・24(木)

大厄は三十三歳
歳、誕生日後には歳を加えた年です。
運勢でみる厄年の大厄は衰退期
の衰退に回座する年を言います。
男性は昭和四十九年生、女性は昭和五十年生、平成三年生は生氣興隆の為に生気が増大するので注意の厄。女性の昭和五十四年生・平成九年生は八方ふさがりの注意の厄です。星除は八白土星、三碧木星、六白金星生の方は星除祈願を受け下さい。

女 の 厄 年	大厄は四十二歳			前厄	60歳 昭和31年生	41歳 昭和50年生	24歳 平成4年生	前厄	男 の 厄 年	
	36歳 昭和55年生	32歳 昭和59年生	18歳 平成10年生		本厄	61歳 昭和30年生	42歳 昭和49年生	25歳 平成3年生	本厄	後厄
	37歳 昭和54年生	33歳 昭和58年生	19歳 平成9年生	前厄	62歳 昭和29年生	43歳 昭和48年生	26歳 平成2年生	前厄	本厄	後厄
	38歳 昭和53年生	34歳 昭和57年生	20歳 平成8年生	後厄						

四	月一日	三	月一日	二	月三日	一	月一日
十五日	三日	二十六日	三日	二十一日	三日	三十日	歳旦
神恩感謝	月月	熊野社例	月月	甲子年	初午	正月	祭
次始		天満天神社例		猿田彦例	針	節分	祭
		神恩感謝		神恩感謝	神恩感謝	新年	祭
		祭		祭	祭	分供	祭
		祭		祭	祭	年次	祭
		祭		祭	祭	分供	祭

平成二十七年厄年表(数え年)

星除祈願

祭典行事曆
(一月～四月)

崇敬会「友の会」設立十周年を迎えて

稲積神社崇敬会友の会会長 大森丘

崇敬会のみなさまにはご健勝でご活躍の事と拝察致します。

先ずは稲積神社崇敬会再興十周年おめでとうございます。

神社の永いながい歴史の中で以前の崇敬会がどのような内

容であつたかは私の記憶にはありませんが、子供の頃から

正の木さん(祭り)の記憶は

しつかり残っています。それ

らの神事や祭りを陰から盛り上げて来たのが崇敬会では無

かったのかなと感じております。先人たちの未来への誇りであることを推察致します。

そんな中で私たちの友の会も早いもので同じく設立十周年を迎えるに至りました。崇敬会再興にあたり、外郭団体として友の会を立ち上げ今に至つております。

たつた十年ではありますが現在会員が三十二名を数えております、毎月の例会を初め例大祭等神社の諸行事及び伊勢講、伊勢神宮の式年遷宮等の行事にあわせて都度参加さ

せて戴き親交を深めております。友の会としましては一人でも多くの方と語り、繋がり、参加して頂けるように、又、

支援や応援が出来るようになると考えております、そして私が繼承してきた神社及び崇敬会をしっかりと、豊かに、次世代へ受け渡して行きたいと考えております。重ねて皆様のご自愛をお祈り致します。

崇敬会「常若会」発足

第六十二回式年遷宮のお白石持行事に参加の折、参加された数名の方より稲積神社に

関わる会の設立希望のお声を頂き、去る八月六日参集殿に於いて発起人会が開催されました。遷宮行事の際の会発足であることから、脈々と十三

年もの間続く遷宮のお心の

常しえに若々しく常に新た

な精神で活動する会」「常若

会(どこわかかい)」と命名

致しました。

会は原則として毎月四日を定例会としますが、外郭団体として神社行事月にはその日を定例日とする、と決定致しました。会員皆が信仰心厚く、

第六十二回式年遷宮のお白石持行事に参加の折、参加さ

れた数名の方より稲積神社に

関わる会の設立希望のお声を

頂き、去る八月六日参集殿に

於いて発起人会が開催されま

した。遷宮行事の際の会発足

であることから、脈々と十三

年もの間続く遷宮のお心の

常しえに若々しく常に新た

な精神で活動する会」「常若

会(どこわかかい)」と命名

致しました。

会は原則として毎月四日を定例会としますが、外郭団体として神社行事月にはその日を定例日とする、と決定致しました。会員皆が信仰心厚く、

一人一人がそれぞれの知恵を出し合い、話し合いを重ねる元気な会です。厳しい社会情勢の中、会員が楽しく繋がり向上を目指していきたいと思つております。

結成したばかりの会です。

稲積神社のご関係の皆様のお導きをいただきながら、会を発展させていく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「常若会」役員

会長 井上重良 副会長 山田政仁 会計 小林隆広

崇敬会世話人会名簿

平成二十六年山梨県神社関係者大会に於いて、

山梨県神社総代会長規定表彰に沿す

代表世話人 宮川睦明 幸明泰昇 武茂正臣 武正博

名譽会員 望月根津小尾

宮司 責任役員・総代顧問 齋藤正臣

宮司 責任役員・総代顧問 堀内久殿

宮司 責任役員・総代顧問 羽中田春夫殿

宮司 責任役員・総代顧問 丹沢好博

宮司 責任役員・総代顧問 飯室塩島

宮司 責任役員・総代顧問 内田好博

宮司 責任役員・総代顧問 藤本柳澤

宮司 責任役員・総代顧問 中込馬場

宮司 責任役員・総代顧問 堀内板山

宮司 責任役員・総代顧問 正三利彦

宮司 責任役員・総代顧問 泉孝元

宮司 責任役員・総代顧問 前嶋和正

宮司 責任役員・総代顧問 順隆浩

宮司 責任役員・総代顧問 大嶋研一

宮司 責任役員・総代顧問 東福寺正忠

宮司 責任役員・総代顧問 小野大澤

宮司 責任役員・総代顧問 長瀬慶暢

宮司 責任役員・総代顧問 丹澤起恵子

宮司 責任役員・総代顧問 英規

宮司 責任役員・総代顧問 佐藤大森

宮司 責任役員・総代顧問 佐藤久良

宮司 責任役員・総代顧問 山土井康能

宮司 責任役員・総代顧問 井上重良

宮司 責任役員・総代顧問 市村竜太郎

宮司 責任役員・総代顧問 井上重良

宮司 責任役員・総代顧問 篠原大森

宮司 責任役員・総代顧問 井上重良

稻積神社崇敬青年会員 西野直樹殿

稻積神宮神嘗祭に奉納者 堀内久殿

玉垣親柱一本

平成二十六年奉納者

崇敬会いなほ会

伊勢神宮神嘗祭に懸税

かげぢから

伊勢神宮神嘗祭に奉納者

玉垣親柱一本



崇敬会いなほ会

テント一張

二七〇〇×三六〇〇

伊勢神宮神嘗祭に
かげぢから
懸税

伊勢神宮神嘗祭に
かげぢから
奉納者

友の会 藤巻秀樹

世話人・和会会長

世話人・いなほ会長

世話人・常若会会長

世話人・友の会会長

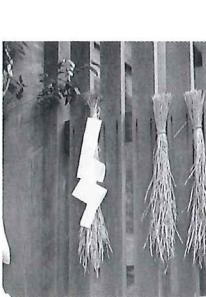
世話人・いなほ会長

世話人・和会会長

世話人・いなほ会長

世話人・常若会会長

世話人・友の会会長



崇敬会再興10周年特集

崇敬会 代表世話人

宮川陸武



私が稲積神社との縁を得たのは、私が運送業を起こした五十年以上前に遡ります。以来、商運繁栄や安全を祈願する神として、経営が苦しいときだけでなく商売が順調なときにも、日々、感謝の祈りを続けてきました。そして、神社は私と神を繋ぐ大切な存在として、事業だけでなく、家庭生活、地域や団体での活動にかかる際の精神的な柱となつてきました。



2014.09.20 14:25

その中にあって、崇敬会は十年前に再興し、稲積神社の護持発展に協力する中で、会員の懇親を深め神への崇敬の念を高める活動を行つてまいりました。暮らしていくくということは、単に経済的な生活を維持することではなく、様々な人とのつながりの中で生かされていることに感謝し、先祖の労苦を敬い子孫の繁栄を願うという真摯な祈りがあつてこそ、豊かで実り多いものとなります。

これからも、崇敬会の活動を通じて、稲積神社に集う人々が心豊かな生活を送れますよう、また、一致協力してお互いを高めあえるよう努めてまいります。崇敬会の活動に、更なるご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。



2014.09.20 14:00

十周年記念大祭が挙行されました。記念大祭に引き続き、記念式典が開かれ、開会儀礼の後、第六十二回神官式年遷宮・出雲天社「平成の遷宮」を奉祝しての記念事業にご貢献戴いた方々に感謝状の授与式も執り行われました。

正に御祝の席に一花咲いた授与式でした。

尚当会の協力団体崇敬会「友の会」も設立十周年を迎えますので合わせて記念例会を開きました。大森丘会長の経過報告を兼ねての挨拶。その中で十周年記念事業としての境内社の熊野社、瘡子社、甲子社の玉垣の親柱を建立した報告があり、崇敬会も多くの人々に崇敬され結集されていることを痛感いたしました。

崇敬会は昭和五十七年に発足されましたが、残念なことに休会を余儀なくされ、平成十六年に再興の気運が高まり、崇敬者各位のお力添えにより再出発することができました。

本年は再興十年の節目を迎えるに当たり、九月二十日に再興

式でした。

崇敬会の協力団体崇敬会「友の会」も設立十周年を迎えますので合わせて記念例会を開きました。大森丘会長の経過報告を兼ねての挨拶。その中で十周年記念事業としての境内社の熊野社、瘡子社、甲子社の玉垣の親柱を建立した報告があり、崇敬会も多くの人々に崇敬され結集され



2014.09.20 10:14